

平成 17 年 3 月 28 日

各 位

埼玉県春日部市大字赤沼 870 番地 1  
会社名 株式会社 篠崎屋  
代表者名 代表取締役社長 樽見 茂  
コード番号 2 9 2 6 東証マザーズ  
問合せ先 経営企画部長兼 IR 室長  
沼崎 昭宏  
電 話 0 4 8 - 9 7 0 - 4 9 4 9

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 11 月 25 日に公表した平成 17 年 3 月中間期（平成 16 年 10 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 17 年 3 月中間期個別業績予想の修正（平成 16 年 10 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

|                               | 売上高   | 経常利益  | 当期純利益 |
|-------------------------------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想（A）                     | 1,007 | 35    | 20    |
| 今回修正予想（B）                     | 1,048 | 106   | 41    |
| 増減額（B - A）                    | 41    | 71    | 21    |
| 増減率（％）                        | 3.9   | 195.4 | 108.3 |
| （ご参考）<br>前期（平成 16 年 3 月中間期）実績 | 1,013 | 10    | 8     |

#### 2. 修正の理由

当中間期における外食事業は商業施設を中心に 3 店舗の出店を計画しておりましたが、既存 FC オーナーからの出店申込みが増加し期初計画を 4 店舗上回る 7 店舗を出店したことが売上増加の主要因となりました。

また、今期より注力しております業務用卸が好調なこともあり利益増加に貢献しました。加えて、事業拡大のスピードを速めるための戦略として資本業務提携を積極的に行った結果、提携先企業グループより事業再生指導等の依頼も増加し経営指導料等を計上することとなり経常利益増加要因となりました。

なお、平成 17 年 9 月期（通期連結・個別）につきましては、今月より稼働した小山工場の生産体制が安定し原価等が計画通りに推移するかを見極める必要があるため従来発表通りといたします。

以上